

谷崎潤一郎賞受賞記念 特別講演会

平成20年度第44回谷崎潤一郎賞は、桐野夏生氏に決定(受賞作品「東京島」新潮社刊)しました。受賞を記念し、「特別講演会」を開催します。

■日時 11月19日(水)午後3時～4時30分(開場2時30分) ■会場 ルナ・ホール ■講演 「孤島の豊饒」第44回谷崎潤一郎賞受賞者・桐野夏生氏 ■定員 先着600人 ■申し込み 往復はがき(1枚1人)に、住所・氏名・電話番号を明記し、10月31日(金) <必着>で下記へ。
*定員になり次第締め切ります。



問い合わせ 谷崎潤一郎記念館特別講演会係
☎23-0039 (〒659-0052 伊勢町12-15)

谷崎潤一郎記念館の催し

【ロビーギャラリー】 絵手紙展
■期間 10月29日～11月3日・午前10時～午後5時(最終日・午後3時まで) ■内容 「私たちの街～阪神南地域～」絵画コンテストの作品展示

【文学館講座】 作家と楽しむ読書会
■日時 10月23日(木)午前10時30分～正午 ■会場 講義室 ■講師 作家・柳谷郁子氏 ■内容 谷崎潤一郎著『夢喰ふ蟲』作家や作中人物の生活・心情などにふれ読書を楽しむ ■会費 2,300円 ■定員 20人 ■申し込み 下記へ

【文学館講座】 “ほっこり”書で遊ぶ講座
■日時 10月26日(日)午前10時～正午 ■会場 講義室 ■講師 京都光華学園伝統文化科特別講師・石井みや美氏 ■内容 実用的な書を学ぶ ■会費 3,000円 ■定員 16人 ■申し込み 下記へ

【秋の特別講座】 やったことない講座<全6講座>
■日時&内容 11月5日(水)俳句「季節感を気にしてみましょ」 11月9日(日)「有田焼白磁上絵付け」伝統的な絵付け 11月16日(日)「ほっこり書で遊ぶ」絵を加えて味のある作品作り 11月19日(水)「篆刻」印を彫る 11月23日(日)「陶芸」葉っぱのお皿作り 11月27日(木)「水彩アート」カード・絵手紙作り/いずれも午後1時～3時 ■講師 黒川悦子氏 福田一義氏 石井みや美氏 坂本舜華氏 近藤知子氏 篠原奈穂子氏 ■定員 各15人 ■受講料 12,000円(6講座・材料費別)1講座2,500円 ■申し込み 下記へ

問い合わせ
谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852/FAX38-3244
Eメール ashiya-tanizakikan@rhythm.ocn.ne.jp

あしや子ども風土記 歴史さんぽ 11 宮川にそって ①

宮川は打出川また都川ともいい、昔は呉川と言いました。川の長さは約3kmあります。その源は剣谷のあたりに発しており、岩場を流れて、水道橋付近で朝日ヶ丘や東山の支流と一緒に川幅が広くなります。そして、ここから南の芦屋の海に向かって流れています。下流の川岸は立派な松の並木道となっており、近くに海も見える打出の名勝地でした。宮川という名は、下流に、金比羅神社があったので名付けられたものと考えられます。川には十七の橋が架かっています。芦屋浜シーサイドタウンの宮川大橋は、海べりの「波」のイメージが生かされ、市内で最も長い橋となっています。

親王寺

打出町の国道43号の北側に、阿保山親王寺があります。この寺の言い伝えでは、芦屋と関係の深い在原業平の父・阿保親王がこの地に住んでいたため、平安時代にこの親王寺が建てられたのだといわれています。時代が下って、この阿保親王の子孫であるということ、長州(山口県)の殿さまの毛利



打出西国街道(昭和52年ころ)

近から、部分的に切れています。が茶屋の町二番地の北までの距離が確認できません。今は、鳴尾御影線の延長のため、道も広くなっています。当時の面影はほとんど残っていません。

西国街道

西国街道は京の都と下関方面とを結ぶ大切な道路で、兵庫県内に入ると伊丹から南に向い、西宮付近で海の方に出て西に折れ、神戸の市内を抜けていました。

江戶時代の地理の本には、西国街道が名所案内で触れられ、道中の人々が楽しく描かれている挿し絵などが載っています。

明治時代になると、鉄道の開通や新しい道の開設で街道はだんだん寂れていきました。現在、芦屋市で西国街道といわれる道路は、阪神電車打出駅の北、打出春日町二〇番地付近から、部分的に切れています。

家は、江戸(東京)との行き帰りに必ず当寺を訪れ、しばしば宝物を贈ったということです。

★ノート 阿保親王に関しては『続日本紀』の記事によって明らかにされていますが、打出の地でなく、親王の菩提寺として建てられたとされる阿保山親王寺に伝えられる文書によって確認する他はない。また、親王寺には江戸時代に書かれた「阿保山親王寺縁起」や、古鏡、銅鐸などの宝物がある。

★参考文献 『新修芦屋市史本編』資料篇二 芦屋市

徳本上人の石ぶみ

宮塚橋の北にある西国橋の東側昔の西国街道に沿った所に、南無阿彌陀仏徳本と刻まれた石ぶみが建っています。

徳本上人は、二百数十年前に紀州和歌山県で生まれたお坊さんです。幼いころから仏に仕える道に励み、苦しい修業を積みました。やがて上人は全国を布教して歩き、芦屋地方にもその足跡を残しました。



鳴尾御影線になった現在のようす

優しく村人に接し、教えを授ける上人は、土地の人々の尊敬を受け、村人たちは後々まで上人のことを忘れないように石ぶみに上人の教えを刻み、その記念としました。現在、芦屋だけでなく、全国にもこのような石ぶみが残っています。



徳本上人の石ぶみ

★ノート 徳本上人(一七五八―一八一八)は、江戸時代の形にばかりこだわらぬ仏教界に飽きたらず、念仏(南無阿彌陀仏)を振り所に、日本国中を遊歴した。晩年、箕面市の勝尾寺松林庵に寄寓し、しばしば付近を布教して歩いた。芦屋を訪れたのもこのころ、文化年間後であったと思われる。

★参考文献 『徳本行者全集』戸松啓真他編『芦屋郷土誌』細川道草『新修芦屋市史本編』芦屋市

●平成五年に発行した「あしや子ども風土記 歴史さんぽ」を紹介しています。ここでは、発行当時の原文に近い状態で掲載しています。

打出焼

芦屋の特産品として有名であったものに、打出焼があります。打出の土地は、古くから焼き物に適した土の産地として知られていました。

約百年ほど前、この土に注目した齋藤幾多が、焼き物を作るために打出(春日町、打出丘陵)に窯を築きました。後に、その方法は阪口庄蔵(砂山)に

よって受け継がれ、打出焼と言われるようになりまし。打出焼は、京阪神の人たちにお茶の道具として愛用されるようになり、やがて、その製作も二代目砂山淳氏に受け継がれていきました。

しかし、二代目砂山氏が亡くなられたことにより、打出焼の製作も現在は行われていません。

サラ金・クレジット問題でお悩みの方、完済された方 広告

- ◎債務整理の方法は自己破産だけではありません。
- ◎「任意整理」という方法は、取引が一般に7年以上あれば、借金がかなり減額できる可能性があり、場合によってはお金が戻ってくる場合があります。(過払金)
- ◎完済されている方でも過払金が生じていることがありますので、完済から10年たっていない方はぜひご相談下さい。

費用分割可

認定司法書士に債務整理を委任すると、業者から本人への取立は止まりますのでご安心下さい。

甲東園法務司法書士事務所

完全電話予約制 0798-54-3259 ■電話受付時間：平日9時～18時

阪急今津線甲東園駅徒歩2分 / コインパーキング(有料)が近くにあります。

新版「芦屋市ガイドマップ」を差し上げています

全市の市街図のほか、市章の由来、市の木・市の花の紹介、市内の主な施設・窓口案内、歴史や見て歩きマップなどを掲載しています。

お1人に1部を、市役所1階行政情報コーナー、ラポルテ市民サービスコーナーで差し上げています。ご希望のかたは、お申し出ください。*印刷部数に限りがありますので、複数部数が必要なかたは、広報課へご相談ください。



問い合わせ 広報課 ☎38-2006